

タイトル：2025年度 教育セミナー（第21回）

日時：2025年9月18日（木）～21日（日）

場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 3階 大会議室（303）

「イスラーム型モラル・エコノミーの理論と実践—現代マレーシアのワクフを事例に」
筒井 華子（京都大学大学院（修士課程）修了）

この度の「中東☆イスラーム教育セミナー」に際しては、主催のアジア・アフリカ言語文化研究所の先生方、事務局の方をはじめ、多くの方々にお世話になりました。まずはこの場を借りて御礼申し上げます。

私は、修士号取得後、1年半の会社員生活を経て、博士後期課程に入学するタイミングで、本セミナーへの参加の機会を得ました。しばらくの間研究生活から遠ざかっており、修士論文の議論のまとめと博士論文の方向性の提示というテーマで、本セミナー内で発表をすることで、アカデミアに戻るための最初のステップ、良いリハビリにもなりました。

普段は所属する研究科内のゼミで発表することが多く、「イスラーム経済」というディシプリンの中で研究しているということを前提としていることが多いですが、発表後の先生方の質疑応答で、「もっと経済学的な分析を加えてもいいのではないか」「イスラーム経済学の議論をどこまで出す必要があるのか」といったクリティカルなコメントもいただき、私の研究のどこを面白いと思ってもらえるのか、どこを膨らませていくべきなのか、その方向性を再考することができました。また、質疑応答の際に話さきれなかったところは、空いた時間を見つけて先生方に話しかけにいくと、そこでさらに議論が盛り上がることもあり、その時間がとても楽しかったです。普段は京都で研究をしていますが、「ときには東京に来て話しにおいで」と言っていたのが非常に嬉しかったです。

他の受講生の方々も、分野は全く違いますが、どこかでそれぞれの専門に引きつけて、質問をしてくださり、質問時間が毎回「短いな」と思うくらい、質疑応答が盛り上がる発表が多かったと思います。他の受講生の方々の発表を見ていても、自分の研究にも応用できる見方や先生方からの指摘やアドバイスもあり、数としてはかなりの発表者がいましたが、全く飽きることなく議論をすることができました。

個人的には、初日の情報交換会、最終日の打ち上げもとても楽しく、直近で行っていた中東の国などのお土産のお酒やお菓子を先生方が豪勢に振舞ってくださり、その雰囲気の中で学生時代の話などもざっくばらんに話せたのもいい時間だったなと思います。

今回の4日間のセミナーを通して得た大きな成果は、先生方や学生の方々に私の具体的な研究の話をぶつける機会をいただけたことと、博士後期課程に進学するにあたり、活発な議論の場に参加することで、研究に向かうモチベーションが向上したことです。今回の経験を糧に、これから博士論文執筆に向けて研究に精進します。ありがとうございました。